

たばた議員

(1) 防災について

大島の台風被害に、改めて自然災害の恐ろしさを思い知った。翻って見れば、当市においても土砂災害の危険性は大きいにある。地震の想定は進んできたが、同時に、大雨対策も進めなくてはならない。そこで以下について質問する。

大雨による土砂災害の危険が指摘されている箇所は、市内に何か所あるか。

過去、土砂災害等の可能性を指摘された大雨はあったか。その際、避難勧告等を行なったか。

現在の設備で、土砂災害に備えた住民の避難を行なうことは可能なのか。

(2) 五日市憲法草案について

皇后陛下が誕生日に際しての文書で、五日市憲法草案について「世界でも珍しい文化遺産ではないか」との発言をされた。市内で案内活動をしている市民からも、案内を希望する人が増え、注目度が高まっているとの声が上がっている。こうした高い評価を得ている五日市憲法草案だが、五日市郷土館の常設展示や中央図書館での企画展示等にとどまり、専門に研究・展示をする施設は、残念ながら、まだない。研究を進め、より広く周知するために以下について質問する。

五日市憲法草案を専門に研究する、市と東京都の職員をおくべきではないか。

国に対し、五日市憲法草案を文化財指定するよう求める考えはないか。

「あきる野市立五日市憲法草案資料館」（仮称）設立にも値する、素晴らしい遺産と考えるが、市はどのように考えているのか。

(3) みなし寡婦（夫）控除について

家庭のあり方が多様化しているなか、未婚のひとり親家庭の住民税や保育料、公営住宅の家賃などについて、結婚暦のあるひとり親家庭同様に安くする「みなし寡婦（夫）控除」を行なう自治体が増えている。根本的には国の税制改正が必要な問題ではあるが、市民の中に不平等が生じている事態には、なんらかの措置を取るべきと考え、以下質問する。

市内にひとり親家庭は何世帯あるか。また、そのうち未婚のひとり親家庭は何世帯あるか。

未婚のひとり親家庭のうち、結婚暦があれば控除の対象となる所得500万円以下の世帯は何世帯か。みなし寡婦（夫）控除を行なった場合の市の負担は。

みなし寡婦（夫）控除を行なう考えは。